

答 弁

問 市長の重点施策の中で、森林ファミリー・パーク、医療検査センター、西部老人福祉センター、中国文化村などの建設にネックになっている

行政姿勢

進捗しない重点施策

三月十三、十四、十五日の本会議では、八人の議員が質疑・一般質問を行いました。

今定例会は、十年後の世界建築博覧会の開催計画を初め、未来を展望した市民参加のまちづくりのほか市民生活に直結する高齢化社会の諸問題、環境整備などについて熱心な質疑や施策への提言が行われました。

以下は、質問と市長ほか関係理事者の答弁の要旨です。

本 会 議

世界建築博構想を中心に 未来のまちづくりを論議

点と、その対応を聞きたい。

答 進捗しない原因は、ほとんどが用地問題である。中国文化村は、市の直接事業ではないが、なるべく早く完成

発注の経緯と価額に疑問

粗大ごみ破砕機

問 一昨年、十四億四千万円で契約した粗大ごみの破砕機は、現在、性能試験が行われているが、発注の経緯と価額には、腑に落ちない点があり、以前に本会議でも提及された。しかし最近、あるコンサルタントや学者の調査、意見によると、いろいろの点で不明瞭な問題が浮かび上がっている。特に、仕様書の作成委託は奈良市に登録している二百に及ぶ関係業者の中から粗大ごみ処理施設の建設に経験のない大阪のコンサル業者など四社に指名入札させている。

また、価額の点でも、ある専門学者の評価額とは、著しい差がある。

答 粗大ごみの破砕機については、現在、専門委員会を設置して試運転をしているが、今後、性能が所期の目的通りに運転できるか見極める必要があるので十一月で任期切れとなる委員の任期を延長したいと考えている。

破砕機は、当時の厚生省の示した指針によって決定したが、発注手続の適正化には、十分な配慮が必要であることを受けて痛感している。

し、観光の目玉となるよう努力していく。森林ファミリー・パークも先般、地元との話し合いをした。医療検査センターも用地の取得が困難なので、改めて、市民の利便を考え、別の土地を探している。西部老人福祉センターは、学園前の給水塔の跡地に計画し、元年度に造成と設計をし、二年度に着工、完成する。

奈良町保存

問 市長は保全型のまちづくりを強調しているが、この計画には、大変な困難が伴うと思う。現在、一般に「奈良町」と定義されている

地域保全は点か面か 奈良町の範囲は

答 奈良町の範囲だが、西は、南城戸通りあたり、北は、椿井から寺林のあたり、南は、真木辻、東は、福智院、清水通り、さらに高畑通り、福井町の地域を予定している。面積にして約四十四畝である。奈良町の保存には、以前か



破砕直前の粗大ごみ(ピット内)

ら地域の人々に啓蒙しており、現在は、道路の舗装、街路灯や電柱の様式を変えることを進めている。

しかし、奈良町の博物館構想となると、難しい問題が生ずる。ひとつは、防火地域・準防火地域では防火建築をせねばならないし、永久構造物でないといけないので、今後、その地域の指定変更を考えねばならない。

また、それに合わせて防火対策も必要になる。

なお、現状凍結や、建物の用途規制のほか建ぺい率の変更などはないから私権の制限にはならないので地域の人々に博物館構想をよく理解してもらいたい。

このため、指定されて、よかつたと思うように奈良町らしい雰囲気の良い町にした

問 このところ椿井町など奈良町の中心地帯では、世帯数の減少が進んでいる。特に、椿井町などでは、十年前に比べて百四十世帯もの減少だ。

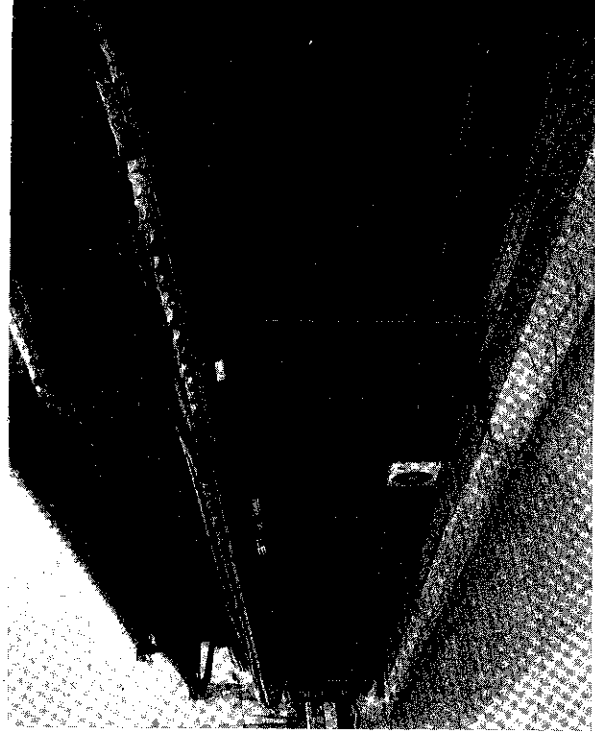
新しい人が移り住めば、建築制限ぎりぎりの建物をつくるに違いない。これでは、建

中国文化村

文化村へのかかわり

問 株式会社中国文化村への市の出資は、八七年度に議決され八八年度に繰越されたが不執行に終わった。このため八九年度には、新たに一千万円の出資金が計上された。この文化村は、第三セクター方式で誘致されるということだが、市としては、開発認可の窓口として、また、文化観光施設の面から誘致するかかわり方があろうと思うが、今後、これに変わりはしないか。

答 まず、開発行為に關しての窓口であり、観光文化施設を奈良市に誘致するという



芝新屋町付近の町並み

このためであり、面的なものと考えている。

いずれにしても、法に基づく伝統的建造物群の保存地区指定を含めての町並みの保存をしていきたい。

立場でのかかわり方もある。また、今後、この施設が中国の陝西省を中心に文物を借り入れる場合、奈良市が出資していることで、中国に対する中国文化村の信用度が増すわけである。しかし、市は文化村の経営には参画しない。

消費税

一部の使用者には転嫁

問 市では、上下水道、市営住宅などの公共料金は、黒字のために今回の料金改定までの間、消費税は転嫁せず、現行料金に吸収して、市民に負担をかけないことにしたが、中央体育館、史跡文化センターなど市の行政財産の使用

には消費税を転嫁するという。しかし、予算的には、大した金額にはならないのだから、これも料金改定まで現行料金に吸収してはどうか。

答 基本的には、消費税を市民に転嫁したくないの考えだが、行政財産を貸与したり、施設を利用する催し物で市への料金納入者が最終の消費者にならないもの、例えば、史跡文化センターや運動公園で入場料をとって行っている行事や催し物の個人や団体からは、消費税をいただくことにした。

モニターで 値上げ監視

問 消費税導入による支出増は一般会計・特別会計・企業会計合わせて十二億七千二百万円に上る。

この負担額に市はどのように対応されるのか。

また、市民生活への影響は月十万円の年金生活者の場合、市民税均等割課だけで済んでいた人が一月三千円の負担増になる。消費税導入によって起こる乗車値上げはどのように防ぐのか。

答 消費税の導入により直接市民負担につながるものは現行料金の中に吸収していく。歳出面については、消費税に相当する分は国に納付しなければならない。

乗車値上げの監視は消費者モニターによる価格調査、また物品税の廃止による価格低下が見込まれる商品・耐久消費財の調査、あるいは外税・内税方式か、表示方法、端数処理方法などの調査も行いたい。

環境を破壊する開発の波 住民と市政のズレ続発

問 市は、六十二年に開発指導要綱を変更したが、保存地区周辺では、マンションや雑居ビルが増えている。市長は保存と開発を提唱しているが、住民と市政の考え方にギャップが生まれ、あちこちでトラブルが起こっている。これをどのように埋めるのか。

答 市内に用地を求めて、マンションや雑居ビルを建て、業者が増え、周辺住民とのトラブルが相次いでいる。

問 昨年、市長は勤労者総合福祉センターの早期着工に努力すると言ったが、その進

保存と開発

質問と

勤労者センター 三年度オープン

問 昨年、市長は勤労者総合福祉センターの早期着工に努力すると言ったが、その進

このため開発指導要綱を改正する。また、対応する窓口が多いのは、行政が縦割り組織になっているからで、これの改善に、企画部に調整課を設け、各課にまたがる施策の立案や全庁的な事務処理の調整を図らせる。

住民と市政のズレ続発

大阪からの大資本によるマンション、雑居ビルで歴史的な町並みが壊されるのを防ぐ

通過型から滞在型へ

問 奈良は、見て通り過ぎるのでなく、滞在してもらえらる観光都市にすべきだ。

このための観光施設の充実や交通対策をどうするか。

また、世界建築博と奈良町の関連を説明された。

答 中世、近世の町並みと木造建造物が残っている奈良町は、後世に伝えていかねばならない。

観光

このため、この奈良町全体を博物館にする。そのためには保存と創造が必要だ。例えば、由緒のある古い家を利用して資料館したり、また、飲食店、喫茶店に利用して、古さを生かした町並みにすることを考えている。

施設面の開発には、伝統行事や伝統工芸など、また市民生活の中に入り込んでいる古いものやそれ以外のものもどんどん発掘し、日常生活にかしながら考えていく。また、今までの見る祭りの中に市民や観光客が、ともに参加して盛り上がりのある奈良の祭りも実施したい。

シーズン中の交通対策にはパーク・アンド・ライド方式で、市内の青山と南の出屋敷にスペースをつくり、交通渋滞を解消する計画だ。

また、世界建築博と奈良町の関連を説明された。

答 中世、近世の町並みと木造建造物が残っている奈良町は、後世に伝えていかねばならない。

教育

過大規模校の解消を

問 児童、生徒が千名を超す三十一クラス以上の過大規模校が、まだ、小学校で五校、中学校で六校も残っている。過大規模校解消の計画は。

福祉

高齢者に行政の愛情を

独り暮らし老人は三三二六六人

問 推計によれば、本市の高齢者は、二〇〇一年には、六五歳以上が人口の一四％になる。全国平均の一六・二％よりも少ないが、これら高齢者の医療を含めて福祉施策の見直しはどうか。

答 高齢化社会の問題は、重点施策に位置づけている。厚生省の推計を奈良市に当てはめると二〇〇〇年には独り暮らしの老人は約六千五百人となり、行政だけの対応は困難で、地域ボランティアの力をかりる必要がある。

このため、ボランティアの養成講座や組織化を図っていく必要があると考えている。

問 昨年の調査では、市内で独り暮らしの老人は、男女合わせて二千三百十六人である。年々、増加する独り暮らし老人と、その孤独死も増えている。

市では、昨年九月、これらのうち脆弱老人の緊急通報システム制度をスタートさせたが、この制度が始まって以来、わずか二件の通報があった。



「学園前」駅前 歩道橋

障害者に配慮欠く

「学園前」駅前の拡張工事

問 学園前駅前では、三月末に、一年がかりの道路と歩道

橋が完成する。これによって朝夕のバスとマイカーのパニ

答 市内の児童、生徒数は、小学校で五十七年度、中学校で六十二年度をピークに、毎年減少している。

しかし、過大規模校の解消には、六十三年度から小・中学校通学区域検討委員会で調査をしており、この基申に基づいて通学区の再編成を行い、分離や新設により過大規模校の解消を図っていく。

答 緊急通報システムは、本年度も百台の設置を用意している。現在までのところ通報された利用状況は二件である。この制度は、国の要綱に基づいたもので、三人の協力者が必要となっている。これは、緊急時に近所に住む協力者に駆けつけてもらって状況を確認してもらったためだ。

協力者が得られないときは、地域の民生委員をお願いしてつくってもらおうか、それも不可能な場合は、市に相談してもらおうようにしている。

申請に必要な協力者が確保できない老人の場合、市で確保してやれないか。

対象者の近親者と近隣の住民三人の協力者を必要としている。

申請に必要な協力者が確保できない老人の場合、市で確保してやれないか。

申請に必要な協力者が確保できない老人の場合、市で確保してやれないか。

申請に必要な協力者が確保できない老人の場合、市で確保してやれないか。

申請に必要な協力者が確保できない老人の場合、市で確保してやれないか。

申請に必要な協力者が確保できない老人の場合、市で確保してやれないか。

申請に必要な協力者が確保できない老人の場合、市で確保してやれないか。

ック状態の解消にはなるが、歩行者には喜ばれない。それは、歩道橋で高い階段を上りおりして遠回りになる。

特に、高齢者、身体障害者、幼児、ベビーカーの母親、妊産婦は大変だ。この工事は、奈良市の福祉のまちづくり要綱を生かしたもののなか。

答 この工事は、地域住民の安全性を確保するために、駅北側の広場の拡張と、人と車の分離によってスムーズに

交通処理が可能になるように市道を横断する南北の歩道橋を架設している。

歩道橋は、当初、階段を計画していたが、身体障害者や一般市民からの強い要望があり、再度、検討して、歩道橋の南側は、可能な限りスロープ化する計画である。

北側は、近鉄ビル内にできる階段と並行してエスカレーターを設置をビル完成とあわせて、二年後につくる予定にしている。

なお、歩道橋には、点字誘導ブロックをつくる予定で、十分とはいえないが、身体障害者への配慮もしたい。

交通処理が可能になるように市道を横断する南北の歩道橋を架設している。

歩道橋は、当初、階段を計画していたが、身体障害者や一般市民からの強い要望があり、再度、検討して、歩道橋の南側は、可能な限りスロープ化する計画である。

北側は、近鉄ビル内にできる階段と並行してエスカレーターを設置をビル完成とあわせて、二年後につくる予定にしている。

なお、歩道橋には、点字誘導ブロックをつくる予定で、十分とはいえないが、身体障害者への配慮もしたい。

交通処理が可能になるように市道を横断する南北の歩道橋を架設している。

歩道橋は、当初、階段を計画していたが、身体障害者や一般市民からの強い要望があり、再度、検討して、歩道橋の南側は、可能な限りスロープ化する計画である。

北側は、近鉄ビル内にできる階段と並行してエスカレーターを設置をビル完成とあわせて、二年後につくる予定にしている。

なお、歩道橋には、点字誘導ブロックをつくる予定で、十分とはいえないが、身体障害者への配慮もしたい。

交通処理が可能になるように市道を横断する南北の歩道橋を架設している。

交通処理が可能になるように市道を横断する南北の歩道橋を架設している。

歩道橋は、当初、階段を計画していたが、身体障害者や一般市民からの強い要望があり、再度、検討して、歩道橋の南側は、可能な限りスロープ化する計画である。

北側は、近鉄ビル内にできる階段と並行してエスカレーターを設置をビル完成とあわせて、二年後につくる予定にしている。

なお、歩道橋には、点字誘導ブロックをつくる予定で、十分とはいえないが、身体障害者への配慮もしたい。

交通処理が可能になるように市道を横断する南北の歩道橋を架設している。

歩道橋は、当初、階段を計画していたが、身体障害者や一般市民からの強い要望があり、再度、検討して、歩道橋の南側は、可能な限りスロープ化する計画である。

北側は、近鉄ビル内にできる階段と並行してエスカレーターを設置をビル完成とあわせて、二年後につくる予定にしている。

なお、歩道橋には、点字誘導ブロックをつくる予定で、十分とはいえないが、身体障害者への配慮もしたい。

交通処理が可能になるように市道を横断する南北の歩道橋を架設している。

歩道橋は、当初、階段を計画していたが、身体障害者や一般市民からの強い要望があり、再度、検討して、歩道橋の南側は、可能な限りスロープ化する計画である。

北側は、近鉄ビル内にできる階段と並行してエスカレーターを設置をビル完成とあわせて、二年後につくる予定にしている。

なお、歩道橋には、点字誘導ブロックをつくる予定で、十分とはいえないが、身体障害者への配慮もしたい。

交通処理が可能になるように市道を横断する南北の歩道橋を架設している。

歩道橋は、当初、階段を計画していたが、身体障害者や一般市民からの強い要望があり、再度、検討して、歩道橋の南側は、可能な限りスロープ化する計画である。

北側は、近鉄ビル内にできる階段と並行してエスカレーターを設置をビル完成とあわせて、二年後につくる予定にしている。

なお、歩道橋には、点字誘導ブロックをつくる予定で、十分とはいえないが、身体障害者への配慮もしたい。



